



1 赤ちゃんを家に一人置いて出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。

赤ちゃんが寝ている少しの間に、赤ちゃんだけを家に置いて買い物などに出かける人がみられます。出かけるときは寝ていても途中で起きてしまったり、寝返りやハイハイができるようになれば、家の中を動き回るのいろいろな危険が待ち受けています。また、火災や地震など災害の際にも一人では脱出できません。赤ちゃんは自分自身で身の安全を守ることができないので、大人が常に心がける必要があります。また、赤ちゃんを自動車の中に置いたままにしていると、脱水を起こし、時には死亡事故につながる場合があります。車内は日中短時間でも温度が驚くほど上昇し、40～50度になります。

赤ちゃんを家に一人残して外出しない。車から降りるときは必ず赤ちゃんも一緒に降ろす。

3 赤ちゃんを抱いているとき、あわてて階段を下りることがありますか。

赤ちゃんを抱いているときは足元が見にくいので、階段を下るとき踏み外してしまったり、靴下やスリッパを履いていて、滑って赤ちゃんを落としてしまう事故があります。階段などの高い所からの転落は、重症事故になりやすいので注意が必要です。階段のカーペットは毛足の短いものを使用し、市販のすべり止めを貼るのも手軽な安全対策です。ただし、極端に出っ張ると逆につまづく原因になります。

赤ちゃんを抱いているときは、階段の上り下りを慎重に行う。

5 赤ちゃんを抱いていて、つまずきやすい場所に角のとがったテーブルや家具はありますか。

ベビーベッドに寝かせようとしたとき、のけぞってベッドの棚にぶつかってしまったり、ミルクをあげようとして抱きかかえたとき、急に頭を後屈してテーブルにぶつかったり、赤ちゃんはじっとしていません。赤ちゃんを抱きながらつまずくと、つまずいた勢いで赤ちゃんが角のとがっているテーブルや家具にぶつかる危険です。



角のとがった家具やテーブルの角はクッション等でカバーする。

2 赤ちゃんを抱いているとき、自分の足元に注意していますか。

今まで簡単に通っていた所でも、赤ちゃんを抱いているときは足元が見にくいので、床が滑りやすかったり、カーペットがめくれているいたり、ちょっとした段差にもつまずいてしまいます。赤ちゃんを抱いたまま転倒すると、体で押しつぶしてしまったり、テーブルや家具にぶつってしまうので注意が必要です。

赤ちゃんを抱いているときは、自分の足元に注意して行動する。

4 赤ちゃんをクーハン(かご)に寝かせて持ち上げるとき、両方の取っ手をしっかり握っていますか。

クーハンの扱いに慣れてくると、取っ手を片方しか持っていないのに気付かず持ち上げて、赤ちゃんを落としてしまったり、持ち運んでいるとき取っ手が取れて寝ている赤ちゃんが転落してしまう事故があります。



赤ちゃんをクーハン(かご)に寝かせて持ち上げるとき、必ず両方の取っ手を握っているのを確認する。

6 赤ちゃんのまわりにたばこや小物を置いていますか。

しゃぶっているおもちゃの部品が外れて入ったり、お兄ちゃんお姉ちゃんが赤ちゃんの口にたばこを入れてしまったり、少し大きくなると赤ちゃんはなんでも口に入れたがりますが、赤ちゃんの口の大きさは最大直径32mmなので、これより小さなものは飲み込めてしまいます。



部屋の中の小物を整理整頓しておく。たばこや灰皿は赤ちゃんの手の届かない所に置く。自宅だけでなく、実家やよその家に外出したときにも注意する。